

## ◆主題名

## 規則の意義

内容  
項目

C

10

オーストリアのマス川

価値  
項目

1・2・③・4

社会の中で必要な規則を考え、なぜ規則を守ることが必要なのかを知ることで、規則の意義の理解や守る態度を育てる。

本時のねらい

規則は幸福な社会を実現するためにあることを理解し、それを守ろうとする判断力を育てる。

L  
i  
n  
k

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

① ニジマスが釣れたときの僕の気持ちはどうだろう。自分たちは釣りの経験はある？

② 釣った魚を川に放つ時の僕はどんなことを考えただろう。

⇒ グレーリング(魚)を釣った時……もしそのまま持ち帰ったら……どうなった？

素直に魚を水中に放つことで監視人から褒められたが……

## ◆テーマ (中心となる発問)

なぜ「規則」を守らなければならないのだろう。

ねらいとする価値に迫るために

### 学び合い活動

場面発問①

場面発問②

場面発問③

中心となる発問

### ◆学び合い活動 のねらい

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

変容をねらう

多様さに気付かせる

自分の考えを深めたり広げたりする

その他( )

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤

2 ネームプレート

3 付箋紙

4 心のものさし

5 ICT

6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー

2 ペア

3 グループ

4 その他( )

## ◆最後の振り返り

最近きまりを守らないといけないなあと思うことはありますか？規則を守らずに自分勝手な行動をとることによってどのような状況になるか想像できるだろうか。⇒自分ならどういう行動をとれるだろうか？

### 【留意点・板書等】

最後の振り返りを「今日の授業を受けてこれから自分が同じ立場になったらどのような「行動」すべきか書くようにする。

### 【授業後の反省】